

第8回 河川氾濫に関する群馬県減災対策協議会

議事要旨

開催日時 : 令和6年6月21日(金) 14:00~15:00

開催方法 : Web会議

委員 : 35市町村長(代理含む)、気象庁 前橋地方気象台長、
群馬県 県土整備部長、危機管理監、企業局発電課補佐、
12土木事務所長(代理含む)

アトバイブ : 国土交通省、独立行政法人水資源機構

議事要旨 :

1. 開会

挨拶(会長:群馬県県土整備部長)

2. 議事

(1) 協議会規約の改正について

- ・事務局より協議会規約の改正案(組織改編にともなう構成機関の名称変更)を説明。
- ・各委員とも異論なく、事務局の提案通り規約改正案について了承。

(2) 地域の取組方針にもとづく対策の実施状況について

- ・事務局より、第2期5か年の地域の取組方針にもとづく対策の実施状況について報告を行った。

(3) 減災のための取組について

市町村の事例紹介

- ・【千代田町】館林地域の防災教育

千代田町総務課長及び館林土木事務所長より、千代田町立西小学校にて実施した防災教育の取組について紹介いただいた。

- ・【片品村】片品村の地区防災計画の作成

片品村役場庶務係長より、国・県の支援により、村全地区で地区防災計画を策定した取組みについて紹介いただいた。

県の事例紹介

- ・ぐんまデジタル避難訓練、防災教育に関する取組、「Web でマイ・タイムラインをつくろう」、多段階の浸水想定図の防災まちづくりへの活用、リアルタイム水害リスク情報システムについて紹介した。

3. 全体質疑

・各委員より、以下のとおりご発言があった。

【吉岡町 町長】

大規模災害発生時の対応は町だけでは限界があり民間の力が必要不可欠であり、令和5年度から積極的に民間事業者との災害協定の締結を進めている。また、町社会福祉協議会等と協力し、災害時の避難行動要支援者の個別避難計画の作成も進め、住民同士が助け合える関係構築の促進、共助の重要性も訴求して参りたい。

【甘楽町 町長】

県・市町村は、引き続き公助の取組を進める必要がある。このため、当町でも防災計画を見直すとともに、行政区ごとにも防災計画を作成することが重要であると思っている。地域によりさまざまな違いがあるため、地域の特性に合わせた取組みをしっかり進めたい。

【その他】

○館林土木事務所 所長

市町村が地域住民等を避難場所に誘導する取組について相談にのっていただきたい。

回答：事務局

情報共有を図り、協議していきたい。

4. 閉会